

福岡みらい病院で

リハビリテーションを受けられた患者様へ

当院理はリハビリテーション科では下記の臨床研究を実施しております。

本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報を研究目的に利用されることを希望されない場合は、下記の連絡先にお問い合わせください。お申し出になられても、いかなる不利益も受けることはありませんのでご安心ください。またご希望により、この研究に参加してくださった方々の個人情報情報の保護や、この研究の独創性確保に支障がない範囲で、この研究の計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。この研究は当院の倫理審査委員会の審査を経て、院長の許可を受けて実施しています。

研究課題名	回復期リハビリテーション病棟入院中の高齢患者における転倒リスク因子と転倒発生の関連に対して身体活動が及ぼす影響に関する調査
当院の研究責任者（所属）	高橋 真紀（リハビリテーション科） 大石 優利亜（リハビリテーション科）
本研究の目的	本研究の目的この研究は、回復期リハビリテーション病棟において、歩行練習を始める時期の違いによって転倒が起りやすくなる要因がどのように変わるのかを調べ、より安全なリハビリや転倒を防ぐための取り組みに役立てることを目的としています。
調査データ該当期間	西暦 2023年4月1日～西暦 2028年3月31日
研究方法	●調査の対象となる患者様 調査データ該当期間に当院リハビリテーション科（回復期リハビリテーション病棟）に入院した 65 歳以上の患者を対象とします。 ●研究方法 本研究では、当院回復期リハビリテーション病棟に入院した患者さんの診療記録をもとに、歩行を開始した時期によって患者さんをいくつかのグループに分けました。それぞれのグループにおいて、年齢や身体機能、認知機能などの転倒に関係すると考えられる要因（転倒リスク因子）と、実際に転倒が起きたかどうかとの関係を調べました。また、歩行開始の時期によって、これらの転倒リスク因子と転倒との関係が強まるかどうかについてもあわせて検討しました。 <電子カルテに記載のある診療情報> 以下の診療情報を研究に利用します。 通常の診療範囲内で入院中に取得された情報 ・ 主要疾患および併存疾患等の医学的情報 ・ 病棟内で活動度および自立度に関する情報 ・ 入院時カンファレンスで取得される生活背景に関する情報 ・ 入院中に定期的実施されるリハビリテーション評価に関する情報 転倒の発生についての情報 ・ 院内のインシデント・アクシデント報告書の情報
個人情報の取り扱い	この研究への参加はご本人の自由な意思で決めることができます。また、研究で使用する情報は、お名前などの個人が分かる情

	報を削除して、番号に置き換えて管理し、学会発表や論文などで個人が特定されることはありません。研究終了後は、5年間保管したのち、適切な方法で廃棄します。
本研究の資金源 (利益相反)	本研究に関連し、開示すべき利益相反関係にある企業等はありません。なお、研究参加の謝礼はありません。
お問い合わせ先	福岡みらい病院 リハビリテーション科 電話：092-662-3001 (代表) 研究責任者：高橋 真紀・大石 優利亜